保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年3月31日

事業所名　子ども支援事業所　にじいろbuzen　保護者等数（児童数）18人　　回収数　18人　　割合　100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	4		もう少し広さが欲しい	国の基準より少し広めになっています。今後移転を検討したいと思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2			国の基準より多めに配置しています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	2			病院の後を借りているので、バリアフリー化はしている。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18				保護者と子供のニーズを踏まえ、適切に作成するようにしています。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	3			子ども達が飽きないようなプログラムを工夫するようにしています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	9	4	利用日数が少ないのでわからない。	今の所、交流はありません。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1			今後とも丁寧な説明に配慮していきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	1			事業所内相談や電話等で連絡を取り、子どもの状況など共通理解できるように努力しております。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18				同上
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	7	10	特に必要がないと思います。 父母の会というのはありますか?	コロナ渦でできていません。父母の会も今の所作っていません。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	4		今の所ないのでわからない	何かあればすぐに対応し、学校関係との情報共有しています。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1			事業所内相談や電話等で連絡を取り、子どもの状況など共通理解できるように努力しております。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18				ブログを月3回以上更新する目標を立案しています。 最新情報になくても更新されている時がありますので、にじいろbuzenのブログから入っていただきたいと思います。 URL:http://kei-ai-kai.com/です。
	14	個人情報に十分注意しているか	18				法人との契約時に個人情報の取り扱いの署名済みです。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	6			全マニュアルがあります。契約手続きにご説明していますが、詳しく説明させて頂きます。 法人内やこども部にリスク・感染などの委員会を設置しています。月1回程度の委員会を開催しています。 研修会や防犯訓練を実施しています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	5			避難訓練は、年2回避難訓練を実施しています。
満	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14	3	1	以前より良くなった気がする。	お友だちとのトラブルで来たくない日もありますが、こども達も日々成長をしています。今後とも温かい目で見て頂きたいと思います。意見等いつでも頂ければ対応させて頂きますのでよろしくお願い致します。

足度	18	事業所の支援に満足しているか	17	1		ルールやマナー等の指導・プールや流しそうめんなど、通常の学童では経験できない事まで参加させて頂いているので非常に有難いです。もう少し利用時間が伸びたり、延長時間を伸ばしてもらいたい。	有難うございます。 子ども達にたくさんの経験体験をして頂き、今後の成長になればと思っております。時間のことですが、職員の勤務体制もあり、ご希望通りになりませんが、今後とも努力させて頂きます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　5年　3月　31日

事業所名　こども支援センター　にじいろciel

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	15		十分なスペースがある。 利用定員以上のスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	15		配置人数より多く配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	15		障がいの特性に応じた環境設定を心がけている。 利用児にあった視覚を取り入れた環境にしている。 指導室等は、事故防止に配慮し、バリアフリー化
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	15		コロナ対策を徹底し、感染防止に努め、玩具や教材・机など毎日消毒をしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	15		職員会議・朝礼・終礼時に話し合いを持っている。参加できなかった職員に対しては記録を残し、回覧する。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	15		保護者の意見などを踏まえて、早急な対応を目指している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15		法人のホームページで、自己評価結果と改善内容を公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		15	外部評価はしていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15		月に1回の研修会を行う。また動画研修を利用し行う。 必要に応じて外部研修をオンラインで行ってい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	15		ポーテージプログラムに沿ったケース会議を実施し、事業所内相談時の保護者ニーズを踏まえ、課題を分析して個別計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	15		ポーテージプログラムを導入。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	15		ポーテージプログラムの6領域とガイドラインが同じなので、必要な項目は選択できている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15		個別計画に沿った自立課題などを取り入れ、支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	15		個別支援計画に沿った立案を1ヶ月作成し、行事等でチーム運営をしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	15		季節の行事や園外活動を入れてプログラムを工夫している。活動の後には反省点をあげている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	15		午前中に集団活動・午後に個別活動を組み立てている。個別支援計画に沿った自立課題も取り入れている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	15		朝礼時に活動の予定・役割分担を確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	15		朝礼時に振り返りと月1回職員会議の時に意見交換をしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15		HUGのアプリを使用し、支援記録と行動観察シートを記録している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	15		個々の個別支援計画状況を評価して見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15		相談支援員・保育園など関係機関と連携をとっている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	15		地域の保健師や保育園・相談支援員等で連携している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			医療ケア児の受け入れをしていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			医療ケア児の受け入れをしていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15		必要時に利用児の保護者の了承を得て、情報共有や相互理解を行っている。見学や体験に同行するときもある。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15		必要時に利用児の保護者の了承を得て、情報共有や相互理解を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	15		担当職員が、近隣の医療型児童発達支援センターとの情報共有を行ったり、自立協議会の参加をしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		15	事業所としては今のところないが、保育園併用の利用児については、機会はある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	15		自立支援協議会こども部会に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	15		事業所内相談支援を実施しており、利用児の様子や課題の評価などの話し合いを持っている。　HUGでのやり取りができるようになり、相談など受けやすくなった。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	15		家庭支援では、、事業所内相談時に助言やアドバイスを行い、電話などでも相談を受け付けている。必要に応じ、家族支援プログラムを個別支援計画に反映させている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	15		利用手続き時に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	15		個別支援・モニタリング時に説明を行い、保護者の同意を得ている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	15		事業所内相談支援を実施しており、利用児の様子や悩みごとなどを必要に応じ助言・支援している。電話などでも相談を受けている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	15		コロナで行っていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	15		迅速適切に対応していると思う。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	15		HUGにてお知らせを発行する。法人内のブログも掲載中。 また、必要に応じ保護者にお知らせ等を出している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	15		研修を行ったりして十分に注意を払っていると思う。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	15		紙面や文章で残るように、分かりやすく伝えている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	15		コロナでできていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	15		マニュアルを利用手続き時に見せて、説明している。訓練を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	15		避難・消火訓練を年12回の訓練をしている。 記録も行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	15		アセスメント時に確認を行っている。児童表に記入してもらっている。必要に応じ、連絡ノートに服薬表・てんかん発作表を貼り、記入している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	15		医師の指示書あり。給食と連携を行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	15		法人全体に委員会があり、毎月アクシ・ヒヤリの集計を委員会がとっている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	15		今年は、動画研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	15		現在必要性のある利用児がいない。 やむを得ない場合のみ、保護者に同意の上児童発達支援計画に記載するように、記録を取るようにしている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。